

## I

## ■出題のねらい

家族のちょっとした喧嘩にまつわるエピソードを友人に話しているという設定です。親子間の喧嘩がテーマとなっていますが、原因は何か、娘の言い訳は何か、母親の誤解の原因は何かを正確に掴みながら読むことができるかがポイントです。日常で起こりうるエピソードがテーマですので、娘と母親それぞれの立場を想像しながら読むと理解しやすいでしょう。

## ■採点講評

身近な親子喧嘩が話題の会話文で、概ねよくできていましたが、[2]の空所埋めの問題の正答率はやや低かったです。仮定法過去完了の問題で、選択肢③“should have 過去分詞”「～すべきだったのにしなかった」という語法が文脈からわかるかがポイントでした。

## II

## ■出題のねらい

ホテルのイベントで、有名シェフによる料理講習会のチラシの内容です。どのような情報がどこに配置されているのかを把握しながら読むことがポイントです。速読力だけでなく、情報から事実を推測できる力が必要となります。

## ■採点講評

イベントの宣伝チラシでしたが、全体的に正答率は低い結果となりました。[6]は同意語を選ぶ問題でしたが思ったより正答率は低かったです。また、文章全体の理解を問う問題、[7]、[9]、[10]の中でも特に英問英答の[9]の正答率が低かったです。英国人シェフが講習会を開く目的は、情報を正確に読み取らないと導き出すことができません。特に読解力が必要な問題でした。[10]は本文に出てくる“fruits”（パラグラフ2, 4行目）が「成果」という意味で取れていれば正答できたでしょう。

### III

#### ■出題のねらい

近年増加中の子供の食物アレルギーについて、保育所で行われた実態調査をまとめた英文と表です。表に関する問題は、分数やパーセントに関する数字表現を正確に理解しているかどうかを問うています。

#### ■採点講評

やや難易度の高い問題でした。[11]は代名詞“those”が何を指すのかを問う問題でしたが、比較対象が明確にわかれば、直前のどの名詞の複数形を指しているのかは見つけられるはずですが、[12]の空所補充問題は、文章の流れが掴めていれば正答できます。[13]も、時制は後続の“since”「～以来」から判断できます。最も正答率が低かったのは[15]の問題でした。図表自体は単純ですが、その下の英文の空所補充問題は、図表内の発生件数とパーセントの数字を熟慮する必要性がありました。図表内の情報は注意深く読むよう心掛けましょう。

### IV

#### ■出題のねらい

交通手段としての自転車のあり方に関する論説文を読み、その背景やさまざま問題点、今後の展望について、正確に読みとることができるかどうかを問うています。難易度の高い単語の意味を、文脈から推測することができるかどうかも重要なポイントです。

#### ■採点講評

正答率が非常に低かったのが[19]の“The Japanese capital”を別の表現で置きかえる問題でした。おそらく“capital”「首都」がわかるかどうかのポイントとなったと思われます。また、ある程度の文量の英文の理解を問う問題も比較的正答率は低いです。10行以上の英文を普段から読みこなす訓練が必要でしょう。空所補充問題[18]のマークをし忘れている人がいました。必ず答案の見直しをするよう心掛けましょう。

## V

### ■出題のねらい

子供の発達とインターネットゲームの影響について、情報テクノロジーへの懸念、実世界における遊びの利点とヴァーチャルなインターネットゲームの利点が述べられています。論の流れを確実に掴みながら読めるかどうかを問います。

### ■採点講評

この問題でも文章内容全体の理解を問う[30]の正答率は低かったです。並び替え問題の[29]は“an amount of…”「ある量の～」に“reasonable”「妥当な、ほどほどの」が加わったフレーズとなります。

該当部分の正しい語の並び方は、次のようになります。

- 1) ②decided ⑤not ①to ④allow
- 2) ④in which ⑤they ①can ③learn
- 3) ②a ③reasonable ①amount ④of